

# 大宮南ロータリークラブ週報



No.1321/第1834回例会 (7. 19)  
(2016. 7. 26 発行)

創 立・昭和53年6月  
例会日・毎週火曜日 12:30~13:30  
例会場・サンパレス

会長 樺沢 二郎 副会長 阪 泰彦 ・ 杉村 俊明 幹事 小平 啓介  
事務所・さいたま市大宮区下町2-51-8 コーポKEN406 ☎ (048) 645-0180 FAX (048) 648-2188

## ROTARY SERVING HUMANITY

### 人類に奉仕するロータリー

#### 浅水尚伸ガバナー公式訪問

第1834回例会

- 開会点鐘
- 国家斉唱
- ロータリーソング「奉仕の理想」
- 大宮南ロータリークラブの歌  
「同じクラブのロータリアン」
- ロータリーの目的唱和
- ターゲット唱和・四つのテスト
- お客様紹介
- 会長挨拶・報告
- 入会式
- 幹事報告
- 卓話
- 出席報告
- ニコニコBOX 報告
- 閉会点鐘
- 記念写真撮影

《 クラブ協議会 》

司会 大沢 守輝SAA

#### ▼大宮南ロータリークラブの歌

「同じクラブのロータリアン」 指揮 羽田しげみ会員



▼ロータリーの目的唱和  
ターゲット唱和  
四つのテスト

職業奉仕委員会  
山田 周二副委員長  
\*我がクラブの四つのテストは  
曲に合わせて行います。

#### ▼お客様紹介



阪 泰彦副委員長

RI 第2770地区ガバナー  
浅水 尚伸 様

RI 第2770地区第3グループ  
ガバナー補佐 中川 高志 様

RI 第2770地区副幹事  
株竹 眞次 様

#### ▼会長挨拶・報告



樺沢 二郎会長

大勢の方に来て頂いて本当に  
ありがとうございます。浅水尚  
伸ガバナー、中川高志ガバナー  
補佐、本日は誠に有難うござい  
ます。中川ガバナー補佐には3  
週連続で来て頂いております。  
株竹眞次地区副幹事、ようこそ  
お越しくださいました。ありが  
とうございます。

私、挨拶の時に必ず言ってお  
ります、先ほどガバナーにもお  
話しましたがけれども、この南クラブは小さなクラブですけ  
れども非常に和気あいあいとしてあったかい、アットホーム  
なクラブです。今年度の地区の運営方針が「楽しいロータリー  
クラブを作り上げよう」となっています。そして、私が掲げた  
今年度のテーマは「笑顔いっぱい 明るい 南クラブ」です。  
まさに地区の方針とぴったりなのではないでしょうか。その  
ためには、クラブ例会に参加して頂いた方々に「来て良かった」

「楽しかった」と言われるようなバランスの取れた魅力あるプログラム作りをする。また、実りある例会と共に楽しい親睦会を企画し出来るだけ多くの方に参加して頂き会員増強に繋げ同時に退会防止となるよう努めようと思っております。

今日は、この後クラブ協議会に移り各委員長に今年度の方針を述べてもらいます。そして、浅水ガバナーには我々の和気あいあいとしたところを見て頂いて、暖かい講評をお願い致します。本日は宜しくお願致します。

## ▼入会式



\*初例会から出席の、山崎 聡亮会員（写真右2番目）本日から出席の北村 政則会員（写真左2番目）の入会式です。浅水ガバナーにロータリーバッジを付けて頂きました。

## ▼幹事報告

小平 啓介幹事

- ・会員名簿作成のためのお願
- ・お誕生日のお花の送付先、お誕生日が良いか、結婚記念日が良いか記入のお願い
- ・事業計画書の訂正2か所について
- ・各テーブルにロータリーの友が置いてあります。25ページに浅水ガバナーのプロフィールがあります。

## ▼各委員長報告

ロータリー情報委員会 阪 泰彦委員長

- ・越谷南ロータリークラブの幹事さんの染谷壮一様が、ガバナーの人となりをご紹介します。是非お読みください。今日は楽しい一日を過ごしたいと思います。

## ▼卓話

RI第2770地区ガバナー 浅水 尚伸様  
「RIテーマと地区運営」



\*初めに、ご自分が、どうして弁護士になったかというお話しや趣味のお話し、国際協議会に出席された時のお話を伺いました。

私が公式訪問で皆さんのところを訪れる最大の目的というのは、皆さんのクラブに元気になって貰おうということなんです。活性化をするための一つのきっかけを作って行きたいということが私の気持ちです。皆様のクラブが今より

も少しでも元気になって貰えて、やる気になるように、お手伝いをしに参っているわけです。

今回、三年に一度の規定審議会が行われ大幅な改正がなされております。例会の回数は月2回以上であれば良いとか入会金規定は外しても良い、Eクラブが無くなり、普通のクラブがインターネットを通じて例会を開いても良い、奉仕の機会を例会扱いにしても良い、委員会を行ったときに例会扱いにしても良いという時代になった訳です。変えろということでは無く「自分のクラブに必要性があるのなら、そういう改革をしてくれませんか」ということです。ロータリーは、もう職業分類の意味がないとかよく言われていますが、このクラブの年度計画書は非常に職業分類に対して忠実な形でやっておられ未補充の分野を列挙しています。そういう意味では、いい形で伝統を受け継いでいる訳ですけども、それについての変更は一切ないんです。何が変わったかと言うと「クラブが自主判断で、いろんな事に対して変化を与えていいですよ。」と言うことでロータリーの本質が変わることは全くないんです。

クラブの特徴ですが、他のクラブの周年事業に行ってみたり、いろんな奉仕活動に他クラブとして参加すると「うちは違うなあ」と気付くのですが、クラブの特徴というのは非常に重要なことで、これを売りにしなければ新会員の勧誘は出来なはずなんです。うちのクラブはこういうことを大事にしている、仲間として頑張ろうじゃないかと言えないと、仕事の繋がりがだけでは長続きできません。「一生付き合える友を、ここでは得られますよ。」ということが大事で、私がロータリーを続けられた自分の中での理由です。ただお酒を飲むだけでなく、たまに良いことをやる、そういうところで感動もする。我々ロータリアンは他の仲間がやっている奉仕活動に対して喜びが共有できるんです。今一度世界中のロータリアンがやっていることを、本も出版されていますので見てみたらよいと思います。

この後

「ロータリー財団100周年について」  
「今年度『学友部門』の設立について」  
「インターアクトについて」などのお話を伺いました。

## ▼出席報告

出席委員会 松尾 賢一委員長

会員数 38名 出席人数 34名 出席率 89.47%



ニコニコ BOX

全員スマイル

ガバナー公式例会、お疲れ様でした・・・・・・・・・・・・・・・・  
・・・・・・・・・・・・・・・・ガバナー補佐 中川 高志様



▼例会終了後「クラブ協議会」開催、部門委員長、委員長が今年度方針と事業計画の報告をし、浅水ガバナーから講評を頂きました。